

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

| | |
|---------------------|--|
| 体系的課題番号 | : JPMJTR20TJ |
| 採 択 年 度 | : 2020 年度 |
| 分 野 | : 機能材料 |
| 研究開発課題名 | : 生体吸収性 Mg-Sc 合金の腐食環境下での機械特性変化と産業化に向けたワイヤーと薄肉管材の製法確立 |
| プロジェクトリーダー 研究責任者 | : 安藤 大輔(東北大学) |

評価結果の総合所見

本課題は、Mg-Sc 合金の生体腐食下での機械特性劣化挙動の調査、および塑性加工プロセスの最適化による製造プロセスの産業化指針確立を目指すものである。概ね目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。産学共同の研究開発に向け、多数の企業と打ち合わせ、複数社と共同研究契約締結を行っており、競合技術動向や社会・市場ニーズの把握が進んでいる点は評価できる。今後、医療関連での実用化を進めるにあたっては、医療関連企業との連携が重要になる。

以上